

NO. 43
秋号

平成 26 年
(2014)

環境ひらかた



ひらかた夏の節電コンテスト

受付始まっています 応募は10月末まで!



夏休みのお楽しみがワーク編
個性化がた

夏の電気使用量をチェック！
夏の7か月分の検算表を配って
どこまで節約できたの？
楽しい特典を用意しています

2014 ひらかたの節電コンテスト

第10回 省エネコンテスト

今夏9回目となる
ひらかた省エネコンテスト！
今年も楽しく節電が省エネに
貢献するチャンスを
してあげませんか？



お問い合わせ

NPO法人
ひらかた環境ネットワーク会
受付：平日10時～18時 土曜9時～16時
TEL: 072-641-2296
TEL: 072-641-2298
TEL: 072-641-2299
TEL: 072-641-2298
受付時間：平日10時～18時 土曜9時～16時
Mail: jnskyok@hikarata-net.org

応募方法

① 7月～9月の電気使用量を記録し、8月10日まで集計表を提出する。

② 集計表を提出した上で、8月10日～18時、土曜9時～16時、072-641-2296までお問い合わせ下さい。

③ 集計表を提出した上で、8月10日～18時、土曜9時～16時、072-641-2296までお問い合わせ下さい。

7月に届いた検算表

8月に届いた検算表

9月に届いた検算表

（裏面）

① 省エネに対して実際に取り組んだ事や工夫した事、アイデア等をお書き下さい。

② ①と②の内容が今年実際に取り組んだ事や工夫した事、アイデア等をお書き下さい。

③ ①と②の内容が今年実際に取り組んだ事や工夫した事、アイデア等をお書き下さい。

④ ①と②の内容が今年実際に取り組んだ事や工夫した事、アイデア等をお書き下さい。

「ひらかた夏の節電コンテスト」 昨年、一昨年とたくさんの方にご応募いただきました。今年の夏も、家族揃って、楽しく節電や省エネにチャレンジされたことと思います。ところで、節電できていなくてもご応募できることをご存知ですか？

応募方法は簡単、応募用紙に3カ月分（6月7月8月）の電気使用量のお知らせ（検針票）を貼って郵送、又はご持参いただくだけです。

削減できた方には先着 300 名様に「京阪バス 1day チケット」を差し上げます。又、裏面のアイデアや工夫、努力内容等を対象に“アイデア賞”“努力賞”“アラカルト賞”などの各賞も設けていますので、ぜひふるってご応募ください。

去年の参加者の声

- ◇家族で話し合うことが多くなり、会話が増えました。
- ◇使用量のお知らせを見て、数字として目に見えることで頑張れました。
- ◇子どもが声かけをしてくれました。
- ◇家族が協力してくれないので困りましたが、私だけでも頑張りました。
- ◇つらいイメージの節電だったけれど、楽しみながらできました。

*****目次*****

ひらかた夏の節電コンテスト応募受付中	P 1
この夏環境情報コーナーは大盛況！	P 2・3
各部会報告	P 4・5
「お知らせコーナー」	P 6
環境トピックス VOL. 9	P 7
シリーズ「地域の環境人登場」	P 8



この夏! 環境情報コーナー。



デモンストレーション後、グループに分かれて調理スタート



夏休み特別企画として「環境ミニ講座」では、「不思議体験」「廃油ランプ作り」「エコクッキング」、自然エネルギー学校では「ソーラーカー作り」など各種講座を開講し、たくさんの参加がありました。

講座以外の日にも夏休みの宿題に、遊びにと、この夏、環境情報コーナー、研修室は大盛況! クールスポットとしての役割を十分果たし、活用してもらうことができました。



エコクッキング

サプリ村野で育てたゴーヤを使って「夏野菜サラダ」と、火を使わずにできる「簡単ゼリー」を作りました。サラダのドレッシングもオリジナル! 簡単に作れると好評をいただきました。後日ゴーヤを食べない子どもも食べた嬉しい報告が!

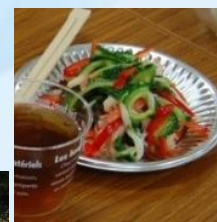


ソーラーカー作り

ソーラー発電を知るきっかけづくりとして、又、夏休みの自由研究にしてみよう、ソーラーカー作り体験を実施! 当日はあいにくの雨で太陽の光で走らせることはできませんでしたが、代わり電気をあて、走り出したソーラーカーに喜びの歓声が!



再生可能エネルギー太陽光発電についてのミニ講座を受けて、ソーラーカー作りをしました。



おいしく変身!



グリーンカーテン ゴーヤすくすく日記





研修室は大盛況!!

廃油ランプ作り



植物油を使う非常用ランプを
空き缶でつくりました。
非常時に身近なものでランプが作
れたら安心ですね!



講師は Join ネイチャーインストラクター
の山口遼太さん



ペットボトルの空気砲づくり!

不思議体験実験

不思議なシャボン玉づくりや、段ボールやペット
ボトルでの空気砲作り、よく飛ぶ紙飛行機の折
り方を伝授してもらいました。みんな身を乗り出
して講師のお話を聞き、体験し、楽しく学びま
した。最後には紙飛行機の飛距離コンテスト
で大盛り上がり!



段ボールの空気砲! 見えない空気の球の威力はどう?

.....インターン生も大活躍!

今年も3名のインターン生を受け入れました。10日間の研修を終えそれぞれに多くのことを学ん
でくれたことと思います。この講座でもスタッフとして活躍してくれました。



鈴木 友さん
龍谷大学3年生



河村 麻友子さん
龍谷大学3年生



小林 三祐さん
関西外国語大学3年生





部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育サポート部会

出前授業で子どもたちに地球環境を考えてもらうきっかけを

部会内チームのひとつ、出前授業チームでは、主に市内の小学校や諸団体から依頼をいただいて、環境に関する出前授業を行なっています。学校では授業時間の中で行なうことが多いのですが、授業時間外でも、クラブ活動の時間やいきいき広場、夏休みの留守家庭児童会室などで行っています。又、ひらかた環境ネットワーク会議の主催する講座などでも実施し、幅広いフィールドで活動を行なっています。昨年度は小学校関係だけで延べ13件の依頼があり、32時限の授業の中で、延べ約900人強の児童に環境出前授業を受けていただく事が出来ました。直近の6年間では、小学校関係から依頼を受けて受講した児童の累計は約5,400人に達します。



目下の出前授業チームの課題は、マンパワーの増強とニーズを先取りした新メニューの開発です。私たちの活動に少しでも興味を持たれた方は、一度現場を見学しに来て下さい。そして、私たちと一緒に、子どもたちに地球の将来の為にエネルギーや地球環境について考え行動していつでも
らえるきっかけづくり
を、出前授業を通じて
行なって行きましょう。

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
全児童数	25,119	24,872	24,497	24,047	23,656	23,316
延べ受講児童数計	850	980	1,045	863	772	924
(延べ受講児童数累計)	850	1,830	2,875	3,738	4,510	5,434

(単位:人)

※ 全児童数は、「第43回枚方市統計書(平成25年版) 小学校の概況」より抜粋

※ 延べ受講児童数は、環境サポート部会年間環境出前授業実績一覧表より小学生対象分を抜粋

公共交通部会

恒例となった「バスのってスタンプラリー」イベントと併せて、新しい取り組みとして枚方モビリティマネジメント事業として「絵本&紙芝居作品募集」を行います。

***第18回 バスのってスタンプラリー ～なぞのコトバを探せ!～** 開催日:10月11日(土)

環境や地域にやさしいバス・電車を使って、枚方のまちをめぐりましょう。

***電車やバスものがたり 絵本&紙芝居作品募集** 募集期間:平成26年9月1日(月)～11月30日(日)

電車やバスへの思いやちょっとしたエピソードを、絵本や紙芝居にして多くの方に届けませんか?

※詳しくは、チラシをご覧ください。

自然エネルギー部会

再生可能エネルギー利用促進に繋がれ～第1回講座は親子で楽しく学ぶ～

9回目となる「自然エネルギー学校」を今年も開講し、既に2回を終えました。2005年より毎年実施していますが、昨年、この「自然エネルギー学校」のありよう並びに今後の方向性について検討しました。皆さんも覚えていただいていますでしょうか？

この紙面でも、今年の冬号で“自然エネルギー「知り・知らせる」から、いかに普及率を上げるかに！”という見出しでお伝えしたように、どのような内容の講座にすれば再生可能エネルギーの利用促進に繋がるのか!?!を、部会で模索しています。皆さんも何かいいアイデアがありましたらどしどしお聞かせください。

とはいうものの、今年の第1回講座「親子で自然エネルギー」には、定員を超える応募があり、自然エネルギーについて、親子で楽しく学んでいただく機会となりました。



まちづくり部会



美しく住み続けたい枚方市をめざして

まちづくり部会の活動のひとつに“まち美化活動推進事業”があります。部会では市のアダプトプログラムに加入し、五六市の会場である街道筋や地域の公園・道路の清掃活動を定期的に行って、まち美化の推進に努めています。

まち美化には地域の方の協力が欠かせません。部会には、ある公園の清掃活動を10年以上続けているメンバーがいて、当初一人で実践しておられましたが、触発された地域の人々によって、いまではゴミひとつ落ちていないきれいな公園になっているそうです。まちづくり部会では、このように地域で自主的に公園や道路等の清掃をしている人々の様子を紹介することで、清掃人口を増やす手助けにしたいと考えています。

さらに、良好な景観づくりをめざして“花いっぱい運動”にも取り組んでいます。商店街等、地域の各所に花のプランターを設置することで、潤いのある通りづくりを実現するのが目標です。

また、地域のイベントのときにも花のプランターを置くことにしています。町おこしへの小さなお手伝いですが、ネットワークづくりの手始めになればと思っています。





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

お手伝いいただきました大勢の皆様、ご協力ありがとうございました。



※エコキャップは、ポリオワクチンの購入資金として寄付されます

●エコキャップ 1・2・3・4・5・6月発送分

193,500 個

累計 1,118,422 個

CO2 累計 8,321.8 kg

ポリオワクチン 13,209 人分

旬の食材で「エコの秋」を満喫!!

「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」…そして「エコの秋」ってご存知ですか。旬のものは、その時期にたくさん出まわり安価で栄養価も高いおすすめ食材です。秋の旬のひとつ「いも類」のおいしい季節になりました。おいものビタミンCは熱に強いので、不足しがちなビタミンをたくさん摂れます。

さつまいも 時期9～11月



ビタミンC、食物繊維が豊富、ビタミンE、カリウムマグネシウム、ミネラルを含む。
ころころに切り、塩とお酒でさつまいもごはん。ふかして、または輪切りにしてフライパンでソテーしお弁当に。

里芋 時期9月～11月



芋の中で一番低カロリー。でんぷん、たんぱく質、ビタミンB群、Cを含む。カリウムを多く含み高血圧予防に効果的。ぬめり成分のガラクトマンナンは免疫力を高める。
皮付きのまま洗って加熱し皮をむいて甘みそで食べる。

長いも 時期10月～3月



でんぷん、ムチン、ビタミンB群、C、カリウム、食物繊維を含む。ムチンはたんぱく質の消化吸収を助ける。拍子切りにし豚肉で巻きフライにしてもヘルシー！ソテーしても食感を楽しめます。すりおろしてお味噌汁に入れても。

毎週最終木曜日は「環境ミニ講座」

暮らしの中のちょっとした「エコ」、特別なことではなく簡単に楽しくできる環境ミニ講座を環境情報コーナーで開催しています。いずれも参加費は無料ですので、お気軽にご参加ください。詳しくは市内の公共施設等に設置のチラシをご覧ください。今後の予定は下記の通りです。

- | | | |
|----------|------------|-------------------------------|
| 10月(30日) | リサイクル手芸 | ペットボトルのキャップがかわいいマグネットに変身! |
| 11月(27日) | リサイクル手芸 | 不用品を活用してクリスマス・お正月向けのカードや小物づくり |
| 12月(25日) | リメイク手芸 | 古封筒をおしゃれにリメイク!「消しゴムハンコ&ポチ袋」 |
| 1月(29日) | 間伐材クラフト | 穂谷の間伐材で「MY箸&キーホルダー」 |
| 2月(26日) | 祝儀袋でクラフト手芸 | 使用済みの祝儀袋で「ミニひな人形」 |



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「オゾン層 回復基調に」「IPCC 総会開催」です。

◆ オゾン層 今世紀半ばに回復の見通し

国連最新報告：オゾン層は回復傾向、温室効果ガスは増加

AEP＝時事通信によれば国連（UN）は、9月10日、環境にとって数少ないよい知らせとして、損傷した地球のオゾン層は今世紀半ばまでの回復へ「順調に進んでいる」と発表した。ただし、南極上空のオゾン層については、回復にさらに時間がかかると思われるという。

国連環境計画（UN Environment Programme：UNEP）と世界気象機関（World Meteorological Organization：WMO）が4年ぶりに発表した最新の報告書によれば、成層圏中の塩素と臭素の濃度は、過去15年間に10～15%低下した。オゾン濃度は、1980～1990年代にかけて低下した後、2000年ごろからは安定している。このまま順調にいけば、オゾン濃度は21世紀半ばには1980年のレベルまで回復するという。

しかし一方、同時期に発表した最新の「温室効果ガス年報」によれば、温室効果ガスの排出量は1980年のレベルまで戻っているということで、先の明るいニュースとは相反した暗い内容となっている。

とはいうものの、この“オゾン層 回復傾向”のニュースは1987年に採択された『オゾン層を破壊する化学物質の生産を、全世界で段階的に廃止するよう求めてきたモントリオール議定書』が大きな効果をあげ、有効であったことを物語っている。国連環境計画（UNEP）の事務局長シュタイナー氏が「われわれが直面している課題はいまだに非常に大きい。モントリオール議定書の成功は、オゾン層の保護と回復だけでなく、機構に対するさらなる活動の後押しとなるはずだ」と述べているように、私たちが取り組んでいかなければならない温暖化対策事業にとって、何が必要なのかを示唆しているといえるのではないだろうか。

◆国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）総会 今月開催

1988年にIPCCが設立され1990年に第1次報告書が発表された。この間、1992年の地球サミットにおける国連気候変動枠組み条約の採択や、1997年のCOP3における京都議定書の採択と2005年の京都議定書の発効など、温暖化を止めるための国際的枠組み作りの道を模索してきた。しかし2009年にコペンハーゲンで開催されたCOP15では、アメリカや新興国を含む国際的な温暖化対策の新枠組みの合意には至らなかった。発足から4半世紀を経て、ますます深刻な問題となっている地球温暖化だが、今年、2014年10月デンマークで開催されるIPCCの総会で報告される6年ぶりとなる第5次報告書が、国際的な温暖化対策の枠組みに作りに新たな影響を与えてくれるものと期待したい。

地域の環境人 登場!!



産直市にあふれる笑顔



以前、地元食材を使って、地元の方が調理・運営されている人気のレストランに行きました。そこは、2つの地域の方が週交替で担当し、お互い負けまいと工夫をこらしているため、味もサービスもよく、何より、みなさんの笑顔がすばらしく、とても張り切って運営されていたのが印象的でした。そして、その周辺の農地や山林はとてもきれいに管理されていて、地域の方の温もりを感じる素敵なお店でした。どの産直市も自分の作物を誇らしげに勧めてくれる地域の人々の笑顔であふれています。こうした笑顔を支えているのは、自分たちの生産したものの供給先があり、需要があるということ。このサイクルがあつてこそ、農業が守られ農村や里山が保全されるのだと改めて感じました。そういう意味では、利用している私も「少しは貢献できているのかな」と嬉しく思いました。

交野 Y.M

水筒持参でちょこっとエコライフ

雨が多かったものの暑かったこの夏、毎日 my 水筒を持参して出かけました。今は水筒もスマートになって、おしゃれ感覚で持ち歩けます。飲み干した後、カバンの中で重いなあ、かさばるなあと思うこともありましたが、でも、どこでも買えて飲んだら捨てられるペットボトルは便利だけれどゴミになる。以前の会報誌にも11、12月分で408,500個もエコキャップ回収されたのを見て驚きました。ゴミをつくらない、ちょこっとエコライフもいいかも、お財布も節約になってちょっとだけ得した気分も味わえて、ささやかですがハッピーな気分です。夏を乗り切りました。

池之宮 K.N

まち中のホットなエコ情報を紹介するコーナーです。エコな取り組みや頑張っている人、環境への関わりや思い、日常の中での関心等をお寄せください。

*200～400字程度 ※原稿は紙面の都合で加工させていただきます。場合もありますのでご了承下さい。

*写真、イラストもどうぞ

*掲載の方には記念品を進呈

ひとこと

6月～9月の期間はサプリ村野「環境情報コーナー」をクールスポットとして活用してもらう為、気軽に立ち寄れる場所となるよう、ゴーヤのオーナー制度を設けたり、環境講座の開講や環境のゲーム・自転車発電の体験コーナー等を充実したりと様々な取り組みをしてきました。その結果、8月の情報コーナー利用者は350人以上にもなり毎日沢山の方が来てくれるにぎやかなスポットとなりました。今後も皆さんが楽しく環境に触れあえる場となるよう改善していきたいと思いますので、何かあればご相談下さい。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第43号

平成26年10月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子